

平成 29 年度事業報告書

平成 29 年 9 月 1 日から

平成 30 年 8 月 31 日まで

I 事業の状況

1. 第 66 回学術総会の開催

会 期：2017 年 10 月 5 日（木）・6 日（金）

会 場：沖縄コンベンションセンター

学会長：琉球大学大学院医学研究科衛生学・公衆衛生学講座教授 青木一雄

テーマ：地域活性化に向けた農村医学の将来展望

～沖縄から日本、日本から世界へ～

(1) 学会長講演

「衛生学・公衆衛生学から農村医学を俯瞰する

～保健・医療・福祉分野への ICT の利活用を見据えた将来展望～

琉球大学大学院医学研究科衛生学・公衆衛生学講座教授 青木一雄

(2) 特別講演

① 「青森県の短命県返上活動から見えてくるもの」

弘前大学大学院医学研究科社会学講座特任教授 中路重之

② 「沖縄健康医療拠点構想における医療情報システムへの展望」

琉球大学大学院医学研究科分子・細胞生理学講座教授 松下正之

③ 「生涯現役、働くことへの支援の意義」

産業医科大学学長 東 敏昭

(3) 教育講演

① 「感染症の水際対策と医療機関との連携」

厚生労働省那覇検疫所所長 本馬恭子

② 「開発途上国：少数民族・貧困僻地農村での研究と実践からみえるグローバルヘルス」

琉球大学医学部保健学科国際地域保健学教室教授 小林 潤

③ 「I 型アレルギー —基礎的研究結果から—」

琉球大学大学院医学研究科衛生学・公衆衛生学講座准教授 花城和彦

(4) 市民公開講座

① 「世界健康長寿地域 “ブルーゾーン” のパイオニア、沖縄」

沖縄長寿科学研究センター所長 鈴木 信

② 「子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）の概要

～沖縄県宮古島の状況～

琉球大学大学院医学研究科育成医学講座准教授 知念安紹

(5) 金井賞受賞講演

「地域住民とともに、さらに新たなステップへ」

鹿児島県厚生農業協同組合連合会代表理事理事長 前田敏郎

- (6) メインシンポジウム
「地域医療が地域の活性化に果たす役割」
- (7) ワークショップ
 - ① 「農村における食と健康」
 - ② 「高齢化の進む農村における生活習慣病の予防戦略」
 - ③ 「農作業による健康障害 特に農作業事故と農薬中毒」
 - ④ 「日本農村医学会の国際交流：その概観と展望」
- (8) 一般演題（口演・ポスター）
- (9) 臨床研修医セッション
- (10) ランチョンセミナー

2. 平成 29 年度 J A 共済連委託研究事業の実施

- (1) 新しい医療に関する研究:母指 CM 関節症に対する関節鏡視下手術の普及
主任研究者：小川 健（筑波大学附属病院水戸地域医療教育センター
総合病院水戸協同病院整形外科講師）
- (2) 地理情報システムを活用した居住環境と生活習慣病発症に関する検討
主任研究者：濱野 強（京都産業大学現代社会学部健康スポーツ社会学科
教授）
- (3) 農村部での急性期脳梗塞患者の搬送と治療に関する研究
主任研究者：町田 明（土浦協同病院神経内科部長）
- (4) 十勝地域における農業労働災害対策～医療現場からの観点での検討と対策～
主任研究者：本宮 真（帯広厚生病院整形外科 医長）
- (5) 地域密着の開業医から見た農村部における地域包括ケアシステムの理念と目指す姿に関する全国質的調査
主任研究者：平川仁尚（名古屋大学大学院医学研究科国際保健医療学
公衆衛生学教室講師）
- (6) 沖縄県における患者救急搬送の実情と救急車利用に関する意識調査
主任研究者：花城和彦（琉球大学大学院医学研究科衛生学・公衆衛生学
講座准教授）

3. 特別研究プロジェクト事業の実施

「農薬中毒部会」、「農機具災害部会」、「農村の生活習慣病部会」ならびに「農村の食と健康部会」において、データベースの充実など調査研究事業に取り組んだ。研究概要は以下のとおり。

(1) 農薬中毒部会

農薬中毒臨床例調査(改訂版) および施設栽培農家の農薬暴露調査について検討を開始し、併せて農薬中毒に関する文献検索を行い、有識者と意見交換を行った。また、石灰硫黄合剤による化学熱傷の防止を目的に、J A の営農指導部局などにパンフレットを配布し、果樹生産部会員などへの啓発活動を展開した。

(2) 農機具災害部会

農作業事故防止啓発のための教材作成に向けて検討するとともに、J A 共済連平成 29 年度農作業事故防止プロジェクト事業に係る農作業事故分析に協力した。また、平成 30 年 10 月に開催する第 10 回日韓合同「農作業安全シンポジウム」について韓国と協議した。

(3) 農村の生活習慣病部会

介護予防コホート研究の初年度として、ベースライン調査の準備作業として調査票等の印刷・配布、HP開設、データベース作成を2018年3月までに予定どおり実施した。研究班会議を開催し、分担施設毎の進捗状況報告と情報交換を行なった。ベースライン調査に着手し、平成30年8月20日時点で対象者数4,361人となった。ベースライン調査は平成30年度上半期まで引き続き実施する。ベースライン調査(和歌山県、雲南市、東御市)にヘルスリテラシーの項目を追加したこと、データ保管体制研究参加機関が最終決定されたこと、健康診断時以外に地域対象への調査を追加したことを受けて、日本農村医学会倫理委員会に計画書と参加者説明書の小修正を申請し、2018年5月7日に承認を得た。

(4) 農村の食と健康部会

糖尿病病状食を目指して、糖尿病患者を対象とした臨床研究を開始した。

平成28年3月から糖尿病患者を対象とし、パック化した乳酸発芽玄米と白米のクロスオーバーによる介入試験を開始した(平成29年12月現在、参加者26名)。第66回日本農村医学会総会において途中解析の一部を報告した。

4. 機関誌の発行

機関誌「日本農村医学会雑誌」は、内容充実を図るとともに定期的に発行した(年6回)。また、英文誌(Journal of Rural Medicine)は、定期的に発行した(年2回)。

5. ホームページの充実

対外広報活動の一環として、ホームページの内容充実および利用促進を図った。

6. 地方会との連絡連携の強化

日本農村医学会地方会との連携および組織の拡充強化を図った。

7. 関係学会ならびに関係研究機関との交流

各種学会ならびに関係機関との交流を促進した。

8. 国際農村医学会等との交流促進

国際農村医学会に対して事務局支援を行い、国際交流を促進した。平成30年に日本で開催する2018年ジョイント・コンGRESS(第20回国際農村医学会学術総会と第67回日本農村医学会学術総会との合同開催)に向けて、連携・協力を諮った。

9. 日本農村医学会賞の授与

本学会の発展に貢献した、玉置久雄氏(松阪中央総合病院名誉院長)に対し、第66回通常総会において日本農村医学会賞を授与した。

10. 日本農村医学会金井賞の授与

農村の保健・医療の向上に貢献した、鹿児島県厚生連健康管理センターに対し、第66回通常総会において金井賞を授与し、記念講演を行った。

11. 日本農村医学会研究奨励賞の授与

「日本農村医学会雑誌」および英文誌(Journal of Rural Medicine)に掲載した優秀な研究論文に対し、第66回通常総会において研究奨励賞を授与した。

【第 19 回和文誌研究奨励賞】

① 医師・研究者部門

テーマ：「入院関連機能障害(Hospitalization-Associated Disability : HAD)の現状と危険因子の検討」

受賞者：田邊翔太(島根県立中央病院救命救急科)

② コ・メディカル部門

テーマ：「高齢者の生活・いのちを守るためにできることー高齢者虐待の事例から MSW の役割について考察するー」

受賞者：小林宏美(豊田厚生病院医療福祉相談課)

【第 11 回英文誌研究奨励賞】

① 医師・研究者部門

テーマ：「Current status of percutaneous endoscopic gastrostomy (PEG) in a general hospital in Japan: a cross-sectional study」

受賞者：草野 央(東京医科大学消化器内科/由利組合総合病院消化器内科)

② コ・メディカル部門

テーマ：「Development of a nursing care problems coping scale for male caregivers for people with dementia living at home」

受賞者：西尾美登里(九州大学大学院医学系学府保健学)

12. 日本農業新聞賞に係る候補者の推薦

地域住民の健康管理活動に尽力した高橋俊明氏(平鹿総合病院副院長)を(株)日本農業新聞に推薦し、第 66 回通常総会において同社から日本農業新聞賞が授与された。

13. 農村医学に関する統計・資料の収集

農薬中毒、農機具災害、農村の生活習慣病および農村の食と健康に関する情報の収集・提供に努めた。

II 会議等

1. 第 66 回通常総会

日時：平成 29 年 10 月 5 日(木) 10:00~10:30

場所：沖縄コンベンションセンター 劇場棟「劇場ホール」

会員数：4,710 名

出席：正会員 4,220 名(本人出席 170 名、委任状出席 4,050 名)

議事：1. 平成 28 年度貸借対照表・正味財産増減計算書、財務諸表の附属明細書の承認に関する件

2. 次々期(平成 31 年度・第 68 回)学術総会会長の承認に関する件

3. 第 21 期評議員の承認に関する件

4. 第 21 期役員 of 承認に関する件

5. 顧問の承認に関する件

- 報告：1. 平成 28 年度事業報告ならびに収支計算書について
2. 平成 28 年度公益目的支出計画実施報告書について
3. 平成 29 年度事業計画および収支予算について

2. 理事会

(1) 第 171 回理事会（法人法第 96 条による開催）

理事会の決議があったものとみなされた日：平成 29 年 9 月 19 日（火）

理事会の決議があったものとみなされた事項

1. 平成 28 年度事業報告、事業報告の附属明細書、貸借対照表、正味財産増減計算書、貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書、収支計算書について
2. 平成 28 年度公益目的支出計画実施報告書について
3. 第 21 期評議員候補者の変更について

(2) 第 172 回理事会

日時：平成 29 年 10 月 4 日（水）13:00～14:45

場所：ラグナガーデンホテル 2 階「明海」

主要議事

1. 平成 29 年度事業計画および収支予算について
2. 第 21 期評議員の選任について
3. 第 21 期役員を選任について
4. 顧問の推薦について
5. 2018 ジョイント・コンGRESS（第 67 回日本農村医学会学術総会・第 20 回国際農村医学会学術総会）について
6. 医学研究の利益相反（COI）細則の改訂について
7. 第 52 回評議員会議事および第 66 回通常総会提出議案等について
8. その他

(3) 第 173 回理事会

日時：平成 29 年 10 月 5 日（木）17:30～18:00

場所：沖縄コンベンションセンター 劇場棟 「会議場 C 1」

主要議事

1. 理事長選任について
2. 副理事長の推薦について
3. 常任理事の委嘱について
4. 各種委員会委員および委員長の委嘱について
5. 支部長の選出について
6. 今後の会議日程等について

(4) 第 174 回理事会

日時：平成 30 年 1 月 27 日（土）10:00～11:45

場所：東京ガーデンパレス 2 階「高千穂」

主要議事

1. 常任理事の委嘱、各種委員会委員および委員長の委嘱、支部長の選出について

2. 第 66 回学術総会（沖縄県）の収支決算および総括について
3. 2018 ジョイント・コンGRESS（第 67 回日本農村医学会学術総会・第 20 回国際農村医学会学術総会）について
4. 第 68 回（平成 31 年度）学術総会の概要について
5. 第 69 回（平成 32 年度）学術総会会長の選考手続きについて
6. 平成 30 年度研究奨励賞の選考手続きについて
7. 平成 30 年度 JA 共済連委託研究に係る課題の推薦について
8. 日本医学会評議員等の選出について
9. 今後の会議日程について
10. その他

(5) 第 175 回理事会

日時：平成 30 年 7 月 7 日（土）10:00～12:10

場所：東京ガーデンパレス 3 階「平安」

主要議事

1. 2018 ジョイント・コンGRESS（第 67 回日本農村医学会学術総会・第 20 回国際農村医学会学術総会）プログラムについて
2. 国際農村医学会新定款について
3. 第 68 回学術総会（北海道）について
4. 第 69 回（2020 年度）学術総会会長の推薦について
5. 平成 30 年度日本農村医学会賞・金井賞および日本農業新聞賞の推薦について
6. 名誉会員の推薦について
7. 平成 30 年度研究奨励賞について
8. 決算に係る理事会の開催について
9. 第 67 回通常総会の提出議案等について
10. 特別研究プロジェクト実施要領の改訂について
11. 特別研究プロジェクト事業の実施状況と平成 30 年度研究計画について
12. 第 10 回日韓合同「農作業安全シンポジウム」について
13. 平成 29 年度特別研究助成積立特定資産の取り崩しについて
14. 第 68 回学術総会に係る学術総会助成積立特定資産の取り崩しについて
15. 平成 29 年度収支決算見込みについて
16. 平成 30 年度事業計画および収支予算（素案）について
17. 日本医学会連合と日本医学会：この中で日本農村医学会の立ち位置について
18. 今後の会議日程について
19. その他

3. 評議員会

(1) 第 52 回評議員会

日時：平成 29 年 10 月 4 日（水）15:00～16:50

場所：ラグナガーデンホテル 2 階 「羽衣・西」

評議員現在数：135 名

出席：評議員 121 名（本人出席 55 名、委任状出席 66 名）

主要議事

1. 平成 28 年度会員の動向について
2. 第 21 期評議員の選任について
3. 第 21 期役員を選任について
4. 顧問の推薦について
5. 平成 29 年度日本農村医学会賞・金井賞および日本農業新聞賞について
6. 平成 29 年度研究奨励賞について
7. 平成 28 年度事業報告ならびに貸借対照表、正味財産増減計算書、財務諸表の附属明細書および収支計算書について(監査報告)
8. 平成 28 年度公益目的支出計画実施報告書について(監査報告)
9. 平成 29 年度事業計画および収支予算について
10. 2018 ジョイント・コンGRESS (第 67 回日本農村医学会学術総会・第 20 回国際農村医学会学術総会) について
11. 次々期(平成 31 年度・第 68 回)学術総会会長について
12. 平成 29 年度 J A 共済連委託研究事業について
13. 特別研究プロジェクト事業の実施状況と平成 29 年度研究計画について
14. 第 2 回国際農作業安全シンポジウムについて
15. 医学研究の利益相反(COI)細則の改訂について
16. 第 66 回通常総会の提出議案等について
17. その他

4. 各種委員会

総務委員会、財政委員会、編集委員会、学術委員会、国際交流委員会を第 172 回理事会、第 174 回理事会、第 175 回理事会に先立ち開催し、主に理事会の協議事項について協議した。

倫理委員会は、書面により第 12 回(平成 30 年 5 月)を開催し、特別研究プロジェクト「農村の生活習慣病部会」の「農業・農村の特性に着目した介護予防コホート研究」の計画書と参加者説明書の小修正について審議し、承認した。

Ⅲ 会員等の状況

1. 会員数

区分		前年度	入会	退会	当年度
正 会 員	医 師	4,515	946	912	4,549
	医師以外	195	52	38	209
	計	4,710	998	950	4,758
賛 助 会 員	個人	2	0	1	1
	施設	28	0	4	24
	法人	2	0	0	2
名誉理事長・名誉会員		7	0	1	6
学 術 顧 問		6	0	0	6

2. 役員・評議員数

区 分	前期末	当期就任	当期退任	当期末	定款に定める定数
理 事	25	9	9	25	21名以上25名以内
監 事	3	1	1	3	1名以上3名以内
評議員	135	45	42	138	100名以上150名以内

3. 当期末現在の役員

役職名	氏 名	就任年月日	所 属 ・ 役 職
理 事 長	新谷 周三	平成29年10月5日	J Aとりで総合医療センター院長
副理事長	前原 和平	〃 (再任)	白河厚生総合病院長
副理事長	羽田 明	〃	千葉大学大学院医学研究院教授
理 事	菊池 英明	〃 (再任)	帯広厚生病院長
〃	矢吹 英彦	〃 (再任)	遠軽厚生病院長
〃	立身 政信	〃 (再任)	(公財)岩手県予防医学協会産業保健支援部長
〃	神谷 彰	〃	北秋田市民病院長
〃	中鉢 明彦	〃	湖東厚生病院長
〃	家坂 義人	〃 (再任)	総合病院土浦協同病院名誉院長
〃	十川 康弘	〃	上都賀総合病院長
〃	高野 靖悟	〃	相模原協同病院長
〃	社浦 康三	〃 (再任)	長野県厚生農業協同組合連合会代表理事理事長
〃	伊澤 敏	〃 (再任)	佐久総合病院統括院長
〃	吉川 明	〃 (再任)	長岡中央総合病院名誉院長
〃	百都 健	〃 (再任)	佐渡総合病院健診センター長
〃	鷹津 久登	〃	中濃厚生病院長
〃	水上 泰延	〃	J A静岡厚生連遠州病院長
〃	山本 直人	〃 (再任)	海南病院長
〃	眞下 啓二	〃	稲沢厚生病院長
〃	森 拓也	〃 (再任)	鈴鹿中央総合病院長
〃	塩飽 邦憲	〃 (再任)	島根大学医学部特任教授
〃	住元 一夫	〃 (再任)	吉田総合病院長
〃	馬場 良和	〃	周東総合病院長
〃	東 博之	〃	阿南共栄病院長
〃	青木 一雄	〃 (再任)	琉球大学大学院医学研究科教授
監 事	狩野 吉康	〃 (再任)	札幌厚生病院長
〃	中野 純一	〃 (再任)	JA 共済連全国本部医長
〃	大浦 栄次	〃	富山県厚生農業協同組合連合会健康福祉課アドバイザー

(年度中に退任した役員)			
理事長	早川 富博	平成 29 年 10 月 5 日退任	足助病院長
理事	菊地 顕次	〃	由利組合総合病院
〃	平山 克	〃	平鹿総合病院
〃	村野 俊一	〃	とちぎメディカルサービスもつが病院事業統括官
〃	別所 隆	〃	医療法人社団こうかん会日本鋼管病院理事長
〃	田中 孜	〃	中濃厚生病院名誉院長
〃	玉置 久雄	〃	松阪中央総合病院名誉院長
〃	守田 知明	〃	周東総合病院名誉院長
〃	合田 吉徳	〃	屋島総合病院常勤顧問
監事	亀谷 富夫	〃	厚生連高岡病院健康管理センター所長

事業報告 附属明細書

平成 29 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。